

景観の名称	小牧山からの眺望
景観の説明	小牧山は、小牧市のほぼ中央に位置する標高85.9m、総面積約21haの小山で、尾張平野の中央に孤高しており、頂上からは平野を一望することができます。戦国時代には織田信長が城を築き、その後、小牧・長久手の合戦においては徳川家康の主陣地となるなど、歴史の表舞台にも登場し、昭和2年には国の史跡にも指定されています。
景観の所在地	小牧市小牧堀の内一丁目地内
撮影場所	歴史館展望台
撮影年月日	平成14年11月中旬

展望台より北を望む



展望台より南を望む

